学校番号	2004

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「情報Ⅱ」（実教出版）						
副教材等	「情報Ⅱ　学習ノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習を進めるうえで大切にしてほしいことは次の4つです。
・基礎から着実に理解すること
・手を動かして実践すること
・自分で考え、課題を見つけること
・仲間と協力し、考えを共有すること
失敗を恐れず、楽しみながら学び、どんどん挑戦してください。

2　学習の到達目標

(1) 多様なコミュニケーションの実現,情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目剤，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについては，情報に関する法規や制度及びマナー，個人が果たす役割や責任等について，情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに，問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマナーを守ろうとする態度，情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い，これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報社会	・情報社会の全体像と変化 ・情報基盤と安全・制度 ・メディアとコンテンツの多様化	a: 情報社会の特徴、情報とデータの違い、情報システムの役割、情報モラル・情報セキュリティ・法や制度について正確に理解し、用語を適切に用いて説明できる。 b:情報社会における課題について、複数の視点から考察し、根拠を示して自分の考えを論理的に表現できる。 c:情報社会に関心をもち、調べ学習や話合い活動に主体的に取り組み、学びを深めようとしている。	単元テスト 実習課題	単元テスト 実習課題	ふりかえりレポート 課題に取り組む姿勢・態度
	データサイエンス	・データサイエンスの基本と社会との関係 ・データの整備と準備 ・分析手法の基礎 ・具体的分析技法と結果の活用	a:データサイエンスの目的や流れ、データの種類、記述統計・推測統計の基礎、データの前処理や可視化の方法について相互の関係を理解し、適切に活用できる。 b:目的に応じてデータを整理・分析し、結果を適切な方法で可視化しながら、妥当な解釈と考察を行い、根拠を示して表現できる。 c:データを用いて課題を解決しようとする姿勢をもち、試行錯誤しながら主体的・継続的に学習に取り組んでいる。	単元テスト 実習課題	単元テスト 実習課題	ふりかえりレポート 課題に取り組む姿勢・態度
後期	プログラミング言語	・ JavaScriptの基礎 ・Pythonの基礎 ・Pythonのモジュール	a:プログラミング言語の種類や特徴、記法や構文、制御構造、データ構造の基礎を理解し、目的に応じて適切に用い、正しく動作するプログラムを作成できる。 b:課題の内容を分析し、処理の流れやアルゴリズムを考え、可読性や効率を意識してプログラムや説明として論理的に表現できる。 c:プログラムの動作を確認・改善しようと試行錯誤しながら、主体的・継続的に学習に取り組んでいる。	単元テスト 実習課題	単元テスト 実習課題	ふりかえりレポート 課題に取り組む姿勢・態度
	情報システム	・情報システムの基本と仕組み ・データ・通信の処理と活用 ・応用・制御システム	a:情報システムの構成要素や機能、役割について正確に説明できる。情報システムの分類を適切に区別できる。 b:情報システムの利点・欠点を分析し、改善点や最適な活用方法を論理的に判断できる。情報システムの構成や働きを、図・文章・口頭で正確かつ分かりやすく説明できる。 c:情報システムの学習に積極的に取り組み、他者と協力して課題解決に取り組む。	単元テスト 実習課題	単元テスト 実習課題	ふりかえりレポート 課題に取り組む姿勢・態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度